

平成26年度（2014年度）第3回池田市図書館協議会会議録要録

日時：平成27年3月1日（日）午前10時～12時

場所：池田市立図書館2階会議室

出席者：（委員）石田会長、岡村副会長、牛嶋委員、藤原委員、彭委員、丸山委員、
上垣委員、佐藤委員

（事務局）加藤図書館長、東本石橋プラザ館長、他職員4名

傍聴者：なし

- 議題
1. 平成26年度図書館運営について
 2. 池田市・川西市間の相互利用について
 3. ティーンエイジャー世代への利用促進について
 4. その他

配布資料

- ・「翔べ！丘の上の図書館」の進捗状況に基づく27年度事業計画
- ・池田市・川西市間の相互利用ちらし
- ・ティーンエイジャー世代への利用促進について

1. 平成26年度図書館運営について

委員：YA世代のとりこみの充実が課題。自習室の活用考えては。

委員：ホームページの「マイ本棚」等を活用してYA世代のとりこみをめざす

委員：各地域の公民館等をサービスポイント的に利用できないか。

事務局：共同利用施設の見直しもある。BMの存続等も合わせて考えていく必要がある。

2. 川西市との広域利用について

委員：相互のPRのチラシ、案内等を相互に置いてはどうか。

事務局：今、始まったところなので、今後、様子を見ながら考えていく。

3. ティーンエイジャー世代への利用促進について

委員：学校間の連携が始まっている。コンピューターネットワークを利用して市の図書館の本を学校で活用できるようにしたい。

委員：図書館の一角に喫茶コーナーを設けるなど、大学図書館などでは進んでいる。自習室をイベント等で活用できないか。

委員：将来像として、地域の施設にポイントができれば。

委員：小学校、学校図書館にポイントができて一般の人が行くかどうかは疑問。費用面で負担が増えるが、1校をモデルケースとして学校図書館を活用してみてもどうか。

委員：現在の事例として市川では学校図書館を活用しているが、セキュリティが万全で休みの日も開いている。何をやるにしてもお金はかかる。他部署との連携も必要。

委員：学校は子どもの安全確保が第一なので難しいのでは。

委員：図書館のない地域で民間と連携してお店に「喫茶図書館」とかの可能性を探ってはどうか。

YAの今後の課題

- ・池田市在住の文化人を呼んでイベントをしては。
- ・各高校で企画イベントしているものを、自分たちの活動を図書館で発表するとか、参加型のイベントをしたら人が集まるのでは。
- ・「何か出来ませんか」と高校に投げかけてみては。
- ・中高生に本を読ませるのは無理じゃないか。彼らが参加して何かをやる。参加型イベントをしてみては。水月児童文化センターや五月山児童文化センターと連携して。
- ・中高生は、図書館へ来て本を読まないだけで、本を読まない訳ではない。子どもが参加しやすいイベントを自習室を利用する子どもにPRしてはどうか。
- ・図書館で高校生部、中学生部といったグループ活動を働きかける。
- ・「図書館でこんなことやってみないか」という誘いかけが必要。